

あぐね



3 月
No. 204

経済交流懇談会

黒之瀬戸架橋計画を促進

牛深市も協力を約束

市では二月十三日、牛深市で経済交流懇談会を開き、黒之瀬戸架橋問題を中心に、観光・商工・水産・農産物などについて話し合いました。

県境こえた友情

阿久根・牛深両市から、丹宗阿久根市長・高橋牛深市長始め、農協・農会・商工会議所・観光協会

南国交通・江崎・九州各船船・牛深青果市場・市役所の関係課長・各新聞記者が出席して、牛深市の議会議事室内で行なわれました。牛深市は、県こそ違っていますが、海上わずか一時間半の距離にありまして、そうして、阿久根市とは魚獲物・生体物資の交流など、同じ経済圏内において、毎年一回親善スポーツ大会も開いています。最近、よく広域行政とか、広域

経済とかいふことが言われるようになりまして。

さらに、昭和四十一年度までの完成予定で、熊本県の三角と天草との架橋が着工されました。そうして、熊本本土から天草南

端の牛深市まで、国道が建設されることになっていきますので、両市の関係はさらに密接なものになることと思えます。

「県が違ふということにこだわらず、すべての面で両市が協力し合い、地域発展をはかるために大いに話し合いたい」ということでもちかけた懇談会だけに、友情に満ちた建設的意見がとり交わされました。

とくに、黒之瀬戸架橋問題については、現在阿久根出水地区市町村で結成している期成会に、牛深市も加入することを約束しました。

三角から阿久根まで

天草列島を縦貫する国道が、牛深で行き詰まりになっては、その経済効果もうすくなりません。ですから、牛深港と長島町の蔵之元港間をフェリーポートでつなぎ、蔵之元阿久根間、県道を、二級国道

に昇格させることができると、この黒之瀬戸架橋実現の可能性は、じゅう分出てくるわけです。

牛深市側も、今後着工した天草架橋から牛深市までの観光ルートを長島・阿久根市に結びつけたいので、黒之瀬戸架橋の促進運動には、直接参加して協力することにになりました。

お互いに紹介しよう

阿久根市側としては、牛深市の観光案内地図に、阿久根航路が書いてないので、今後リーフレットや案内地図を作るときは、ぜひ入れてほしい。また、店頭の汽車時刻表に、古いものがはってあるから、正しいものと取りかえてほしいと相談しました。

これに牛深市側は、天草には汽車がないので、時刻表に無関心であったから、さっそく作りかえた。そうして、お互いの観光資源をつとめて紹介し合うようにしましゅうと、こたえました。

漁業の操業緩和を

牛深漁協からは、牛深の漁獲物のほとんどを、阿久根漁協に水揚げしているが、牛深漁協としても

最近の不漁で漁民の生活も苦しいので、阿久根漁協がとっている牛深関係の手数料の一部を、牛深漁協に還元してもらえないだろうか。また、鹿児島海区での、操業制限緩和に協力してほしい、と相談がありました。

それに対して、阿久根漁協は、貴漁協の苦しいのはよくわかりますが、当漁協もまったく同じで、鹿児島や長崎に水揚げするのが多い状態です。

また、再建整備団体でもあるので、今後すぐにそのような措置をとるのは困難と思えます。

なお、操業制限緩和は実際問題としてむずかしいでしょうが、努力はしてみたい、とそれぞれこたえました。

野菜類がほしい

牛深市は消費都市であるので、ハクサイ・ダイコン類を長島からもらっているが、ニンジン・ゴボウ類がなくて困っている。今後阿久根市から野菜類を大量に送ってもらえないか、と要望がありました。

阿久根市側としては、四月には青果市場もできる予定だから、阿久根の新鮮な野菜類を、どしどしお送りしたい、とこたえました。

このほか、直接牛深港と阿久根港の間に、フェリーポートを運行してもらいたいとか、南国交通の汽船運航回数をふやしてほしい、などの、望もありました。

表紙

老人ホームに

庭木を贈る

ただ今、全国緑化運動も始まっています。緑は人間の活動のオアシスでもあります。

木佐木野郎君のお年寄り二十人は、徳田林太郎さんを中心に、健老会をつくって、毎月例会を開き、大いに若帰ろうと、楽しんでおられます。二月の例会では、一つ、聖園老人ホームに庭木を贈り、ホームのお年寄りを慰めようではないかということになりました。

そうして、二月十六日には各自が持ち寄った庭木百本をトラックで運び、自分たちで老人ホームの庭にきれいに植えました。

緑というものは、生命のシンボルです。春の一日一日と伸びていくにつれ、木々の新芽が勢いよくふくらみはじめます。これを見た古人が緑色の神祕を感じたのは当然だったでしょう。

人間の赤い血液と、樹木の緑の葉緑素とは、色こそ違え構造は似たものなのです。緑を生命のシンボルと見立てたのは、決して間違いでないかっと思えます。

「春よこい」「早くこい」

もういくつねると一年生

今春から小学校にあがるおきさま方はいかがですか。もう指折り数えて、楽しみにまた、どこか不安な気持ちでお過ごしのことと思います。学校教育への第一歩です。よい出発によつて、子どもの幸福を願いたいものです。



注文つけないこと

一年生に入学するということは子どもにとっては、大きな前進であり、大きな変化でもあります。それだけに、入学するということを、もっとも自然に、もっとも有意義にあらせたいものです。だからといって、急にいろいろ子どもに注文をつけがちですが、これは子どもの生活を束縛し、精神的に縮ませてしまうことが多いようです。

て、楽しい学校生活ができるよう日常のしつけを身につけさせることが大切でしょう。

日常のしつけ

「はい」、「いいえ」と、自分の名前をはっきり言えることは、もっとも大事なしつけの一つです。呼び名を「○○ちゃん」と愛称で呼ばれていて、先生に「○○くん」と呼ばれ、けげんな顔をしてだまっている子どもがいます。

また、「あんよ」「汽車ぼっば」などの幼児語をつかって、級友に笑われ、すっぱり無口になった例もあります。

また、便所の設備や構造が家庭のものや違って、とまどいするところがあります。起床後すぐ用便をすませる習慣はもちろん、手洗いやノックのしつけが身につけているか、たしかめておきましょう。

とにかく、学校という集団生活の中で、他人の手を借りずに、自分の身のまわりの基本的なことを処理できる子どもに身につけておくことが大切です。

読み書きは自然に

入学前に、あわててひらがなの読み書きを教えたり、数のかぞえ方をつめこんだりされるご家庭があります。これは、かえって学校で、基本から正しい方法で教育するときに、大きな障害となることが多いようです。

ですから、入学前は絵本にしたしんだり、かるた遊びに興じたりしている間に、自然に文字を覚える程度が、もっとも望ましいわけです。とはいっても、入学時には、自分の名前を識別するぐらいは教えてもらいたいものです。

服装と学用品

運動に便利な服装をさせることが大切です。けばけばしく、目立ち過ぎる服装をさせたために、おかしな虚栄心が身についたり、つまらない高いを受けたりすることがあります。

体育や身体測定するときなどは、ひとりできささと着たり、脱いだりして、服装をさせ、そうしたいけいこをさせておくことも必要です。また、服や持ち物には、はっきり名前を書いておくことが大切です。

健康診断も

入学した子どもの精神面、肉体的な緊張は、予想以上に大きいものです。そのために発熱する子どもさえいます。

ですから、ふだんからじゅう分体力を養っておく必要があります。とくに、医師の健康診断を受け、トラホームや皮膚病などの伝染病は、できるだけ早くなおしておいてください。

登下校の交通安全

入学早々、交通事故などで死傷する例がありますが、こればかり返したくないものです。

もっとも安全な登下校の順路をきめ、途中の危険箇所をどのようにして安全に通行するか、できるだけ、前もって実地で訓練しておきたいものです。

最後に、学校の先生はこわい人という先入観を持たせるのも困ります。学校の先生は、よいことをやさしく教えてくれる人だと思ひこませておいてください。

今月の行事

2日	小児マヒ生ワクチン服用始まる
3日	ひなまつり
4日	尻無児童館入所式
5日	沖ワカメ解禁
6日	民牛委員研修会
7日	農業共済組合役員打合せ会
7日	消防記念日
9日	学校緑化コンクール実施調査
9日	野大捕鯊
10日	かんしよ増産座談会始まる
10日	定例教育委員会
11日	母子福祉大会
11日	乳児検診始まる
12日	定例市議会始まる
14日	卒業式阿久根中・大川中・三笠中
16日	卒業式 華人小中・田代小中
16日	商店照明コンクール
20日	春分の日
21日	卒業式阿久根小
23日	卒業式 西目小・鶴川内小・山下小・折多小
25日	尾崎小・藤本小
25日	小中学校卒業式
26日	電気記念日
26日	第三回百日咳・ジフテリア予防接種始まる



〔みんなでブロックづくり〕

風と夜の長さがひとしいといわれる春分の日、三月二十日です。俗にいうお彼岸の中日に当たり、春らしい日差しが感じられるようになります。

入学や就職試験も行なわれて、お子さま方の進路・就職の方向がままるときです。

自分の希望するところに進めなくても、あとの努力したいでは、どのようにも開拓できるのですから、がっかりしている人があれば

「ブロック」づくり

阿久根中の総合学級

阿久根中学校の総合学級では、宮脇先生の指導で、ブロックをつくっています。

このブロックは、教育課程の一つとしてつくられるので、阿久根中学校や市内の小中学校で使用さ

何かと力つけてあげることが必要です。

衣 もうそろそろ厚地のオーバーなどはいらなくなります。

どうせ手を通さずにおくのなら、一日でも早くクリーニング屋へ出すなり、自分でよこれをおとすなりして、片付けてしまった方が無難です。

箱に入れる場合には、新聞を敷

くらしのシオリ

いて(印刷インクのおいさを虫がきらうため)から、しまうものを中表(なかももて)にしてたんで入れます。すると、裏側を出したままよりも虫の被害が少なくてすみます。

防虫剤は、はだかのまま使わずに、薄い和紙で包むとか、小さい紙袋の四すみを切る程度にしな

食 春はたまごの出回り期。たまごは栄養食品の横綱格でビタミンA・B・ミネラル・蛋白質などをたくさん含んでいます。

その上、子どもたちの好物でもあり、料理の心づかい一つで、いろいろのごちそうができます。どうぞ、子どもの喜ぶオムレツなど作ってやってください。

住 ちかごろ、自動車が多くなつた上に、道路工事などが

あつて、雨の日などはみなさま方にたいへんご迷惑をおかけしています。

道路に面した住宅、商店のへいや窓などには、どろがはねてお困りのことと思えます。どうせよこれるのだからと、いつまでもそのまましておく、木造の場合合さりが早くなりますし、洗っても落ちにくくなりますので、週に一回ぐらいいは水洗いをしましょう。

れ、ひじょうに喜ばれています。

総合学級はまた特殊学級とも呼ばれ、小さいときのいろいろな病気が原因となり、気の毒にも精神(智能)の発育が少し遅れた子どもたちで構成されています。

このようなブロックづくりを楽しみながら、協同・責任という態度を修得してもらい、社会に出ても「力ける人」・「役に立つ人」になつてもらうように教育されています。

現在、卒業生十数人が関西方面に就職していますが、まだひとりの難職者もなく、まじめに働いているので、会社側からも好評を得ておられます。

とくに、半業生のある人は、就職一年半で八万円も貯蓄ができ、その中から五万円を家庭に送つてきたそうです。

「たけのこ」をかん詰め ボンタン工場

阿久根小学校にも、この特殊学級はあつて、花木先生が指導にあたっておられます。

わたくしどもは、このような罪のない気の毒な子どもたちを、暖かい心で励まし、社会の一員として役立つ人になることができるように、同情よりも、深い理解で育てていきたいものです。

眞田橋のボンタン工場では、昨年から阿久根の特産物「たけのこ」のかん詰めをつくらせていますが、今年もその準備にとりかかりました。

今年は一万本(一斗かん)を目標にしています。「たけのこ」は季節物ですから、てっとり早く処理しなければ、鮮度が落ちるそうです。

工具も百人ほど必要だそうです。ほとんど女の方ですが、ご家庭の主婦の方でも、もしお暇でしたらアルバイトにでもと、同工場では話していました。

ご希望の方は、直接同工場(電話六〇〇番)にお問い合せください。

火の用心

ちかごろとくに、火災が多いようです。子どもさん方の火遊び、石油コンロ、プロパンガス、など火の元にご注意ください。

お知らせ板

国保証の

きりかえ

市の保険衛生課では三月三十一日市内いっせいに、次の場所で、国保被保険者証のきりかえを行います。

これは、世帯主の方に七割給付することに

なったので、被保険者の確認と保険給付の適正をはかるために行なわれるものです。

大川地区(本之平礼を含む)

市役所大川出張所

藤本地区 市役所 三笠支所

阿久根地区 市役所保険衛生課

また、かねて被保険者の方に異動があったときは、十日以内に届出をすることになっています。

もし、あなたのご家庭に異動があったときは、すぐ保険衛生課までお届けください。

大工賃を値上げ

出水地区工友会では、さる二月

役員会を開き、賃金値上げを申し合わせました。四月一日から普通一千二百円・棟頭級一千三百円になるそうです。

児童の喫煙防止

ご存知のとおり、法律により児童はもちろん未成年者の方は、「たばこ」を吸うことを禁止されています。

最近、喫煙する児童が増加しているそうです。これは不良化の第一歩だと思えます。

でなくても、未成年者の心身発達に及ぼす害の大きいことは、みなさんご存知のことと思います。

発育盛りの子どもを、このような害のないよう、みんなで護ってやりましょう。

野焼きは届けてから

野焼きの時期になりました。野焼きなどは、前もって市農に届けて許可を受けてから、火を入れることになっています。

風の無い日に防火線をつくり、

在外私有財産請求権

追加登録受付

外資同阿久根支所では、三月十日から三月二十五日まで、在外私有財産請求権の追加登録を受付けています。

未登録の方は、早目に本町五七番地金丸安美方まで申し出てください。

鶴丸高校通信教育

生徒募集

ただ今、四月十五日まで、鶴丸高校通信教育の生徒を募集中です。働きながら高等学校卒業の資格を得たい人は、この機会に進んで応募してください。

現在当市の在学学生は二四人ほどで、毎週阿久根中学校で共同学習を行ない、毎月一日か二日は、本校から講師がみえています。

連絡先

阿久根中学校

古村先生あて

所得税15日まで

所得税の確定申告は3月15日までとなっています。また、青色申告の申請期限も3月15日までです。どうぞお忘れなく申告をすましてください。

市県民税20日まで

わたくしたちにもっとも身近な市県民税の申告も、3月20日までです。

お忘れの方はございませんかもしお忘れになると、扶養控除など、みなさま方に与えられた特典をなくすることになります。市役所内課税課においての上気軽にご相談ください。

子どもの相談にのりましょう

ただ今、進学、就職の時期です。この問題は、成功、失敗にかかわらず、子どもに与える影響は大きいものです。

ですから、家庭での指導と助言がたいせつです。そうして、子どもが本当に心を打ち明けられるように、子どもの言葉によく耳を傾けて、相談にのるようふんいきをつくりましょう。

県社会教育大会で受賞

山下の園田部落

山下の園田部落は、さる2月3日の県社会教育大会に於て、「本を利用するグループ」として、表彰されました。この部落は24戸ですが、みかん園を10町歩以上も持っています。」



文珠院橋の改装

山下の文珠院橋は、明治の初期にできた、高松川にかかる数少ない「めがね橋」の一つで、阿久根の北と南を結ぶ重要な橋です。

しかし、はげがせまかったため、このほど4メートルに改装しました。

尻無児童館落成

鹿児島県下でもはじめてつくられる尻無児童館は、2月20日完成し、落成式が行なわれました。

当日は、部落をあげてお祝いし、各種団体などから「おどり」も出て、大へんにぎわいました。



